平成 23 年 10 月 3 日

各　　位

会　社　名　株式会社ファーストエスコ
代表者名　代表取締役社長　島﨑知格
（コード番号:9514　東証マザーズ）
問合せ先　常務取締役管理本部長　小池久士
（ TEL. 03-5299-8521）
URL. http://www.fesco.co.jp/

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2011 年 7 月を基点とする3ヵ年の中期経営計画について、添付のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

以　上

2011年度　ファーストエスコグループ

中 期 経 営 計 画

～ make your sustainable life～

株式会社ファーストエスコ

証券コード　9514

ご挨拶

ファーストエスコでは、これまで取り組んできた不採算事業の整理を目的とした構造改革に、2011年6月期事業年度をもって所期の目的を達成したものとして終了を宣言します。

今後は、これまでの構造改革を通じて毀損した自己資本の拡充に努めつつ、関係各位のご期待に応えてまいりたいと考えております。

こうした背景のもと、このたび2011年7月を基点とする3ヵ年の中期事業計画を策定いたしました。

事業の寄って立つべき社会的な基盤は、今まさに大きく変革を迎えております。

こうした中、引き続きエネルギーの最適な利用を支援しつつ、人にとってあるべき環境整備を目指した事業への進化を進めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年10月3日

株式会社ファーストエスコ

1. エネルギーを取り巻く市場の変化

エネルギー環境対策の変化

従来
- ◆省エネに関する各種法制度の施行
- ◆地球温暖化によるCO2排出量総量規制
- ◆原子力エネルギーの推進
- ◆環境クレジット

今春以降
- ◆京都議定書の目標未達の可能性
- ◆実現困難な省エネルギー目標
- ◆震災以降のエネルギー政策の転換

今後の課題
- ◆持続可能なエネルギーの利用推進
- ◆安全なエネルギー需要の高まり
- ◆エネルギー（電気）の安定確保
- ◆人に配慮した環境づくり

地球のための環境改善から
人に優しい環境づくりへ

1997年の京都会議以降、わが国では温暖化抑制を目指したCO2の排出削減を進めてきました。
しかし、今年3月の震災以降、従来の施策の推進や目標の達成が極めて難しい状況となっております。
事業者の置かれている環境にもエネルギーの安定確保という新たな課題が生まれており、
当社グループのサービス展開もこれに沿った方向に変化していく必要があります。

2. FeSCOグループの中期経営方針

Earth Conscious

カーボンマネジメントによる低炭素社会の実現

木質バイオマスを利用した新エネルギーの利用促進

価値観のシフト

Human Conscious

省エネと職場環境改善を融合した
人に優しい仕事環境づくりを目指します

従来のカーボンマネジメント、および木質バイオマス発電は、一義的に低CO2社会の実現を目指したものでした。
しかし、震災以降のパラダイムシフトに伴って、弊社のサービスの方向性をHuman Consciousとし、
目的を人に優しい環境づくりとします。

3. Human Conscious ～人に優しい仕事環境～

総合エネルギーマネジメント

職場環境の改善

人が快適と感じられる環境へ

◆快適な温度・湿度を保ちます
◆不快な騒音・臭い等を軽減します
◆ウイルスの発生を抑えます

事業活動の効率改善

エネルギーの最適化

◆最適なエネルギーを選択します
◆エネルギーの無駄を減らします
◆廃棄エネルギーを最小化します

生産効率の向上

利益を生み続ける豊かな
企業活動を生み出します

企業活動をトータルサポートします

4. 経営ビジョン

ファーストエスコ

エネルギー効率の改善により
人に優しい仕事環境づくりに貢献します

ウッドパワー

地域の未利用な木材から
クリーンなエネルギーを作ります

ファーストバイオス

日本最先端の木質バイオマス
発電所運営サービス・ノウハウを
提供します

当社グループの事業は、それぞれの役割・サービスによって3つの領域に分かれています。
しかし、それらの目指すべき目的は人に優しい環境づくりであり、お客様の満足度の向上を目指しております。

5. FeSCOの取り組み・今後の展開

エネルギー効率の改善により人に優しい仕事環境づくりに貢献します

既存サービスの発展・向上

◆オンサイト発電設備の最適運用

◆エネルギー効率改善メニューの充実

総合エネルギーアドバイザーとして
企業力を向上

顧客企業の人材育成支援

◆社員教育とエネルギー管理の融合セミナー導入

◆エネルギー運用改善による職場の活性化

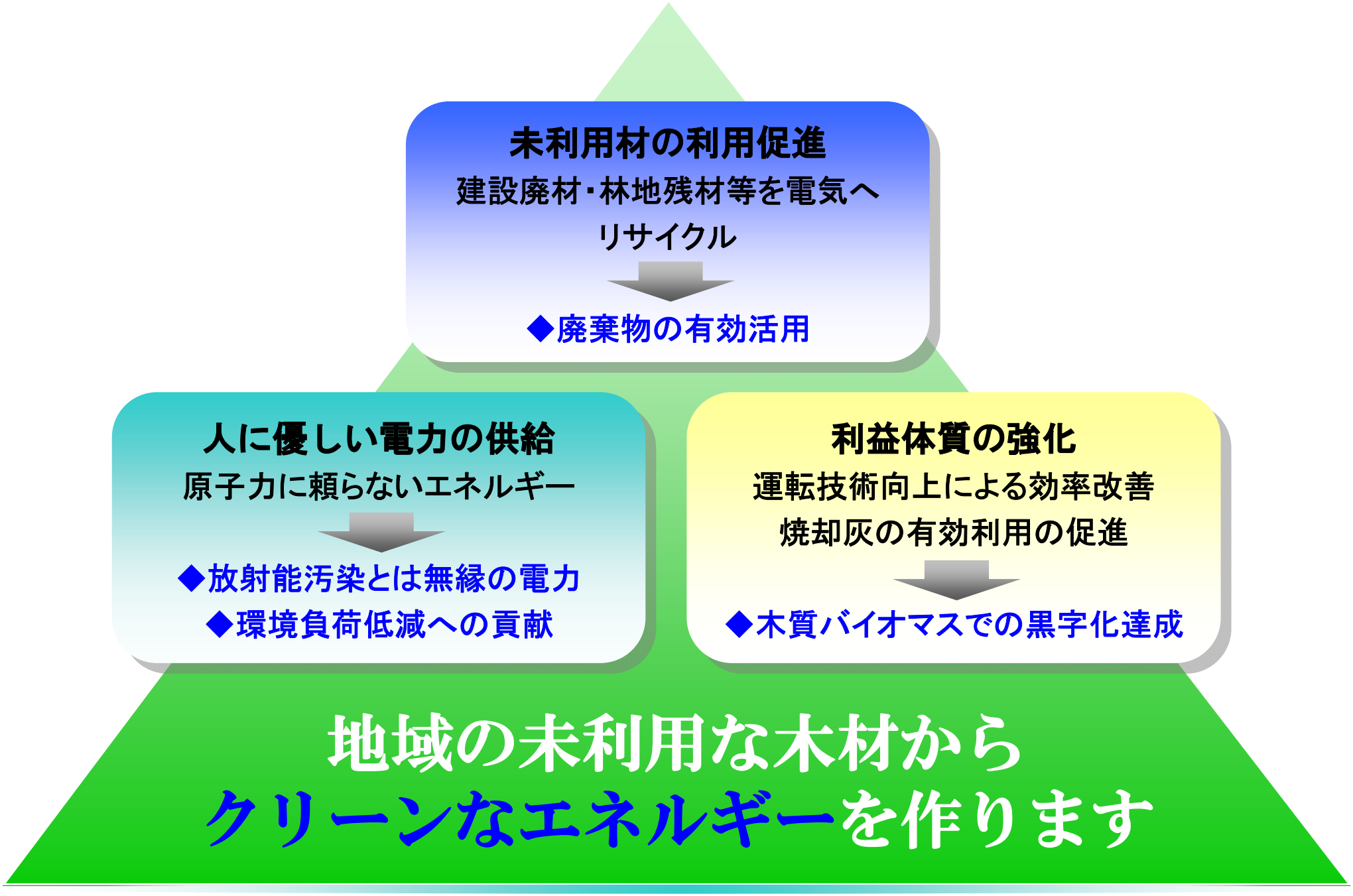
新たなサービス・商品の提案

◆快適な職場環境と
エネルギーマネジメントの両立の実現

◆エネルギーの調達から
最適利活用までのトータルマネジメント

FESCO

6. ウッドパワーの取り組み・今後の展開



日本最先端の木質バイオマス発電所 運営サービス・ノウハウを提供します

高度な技術者集団

保守・整備技術の更なる高度化
最適な運転技術
設備改善

◆設備の高稼働率の実現

発電所運営ノウハウの提供

グループ外企業への展開

◆バイオマスエネルギー利用の推進
◆売上の多様化

燃料調達力・品質管理技術の向上

安定需要家としての地位確立

◆燃料調達コストの抑制
◆安定的な燃料供給
◆設備稼働率の向上

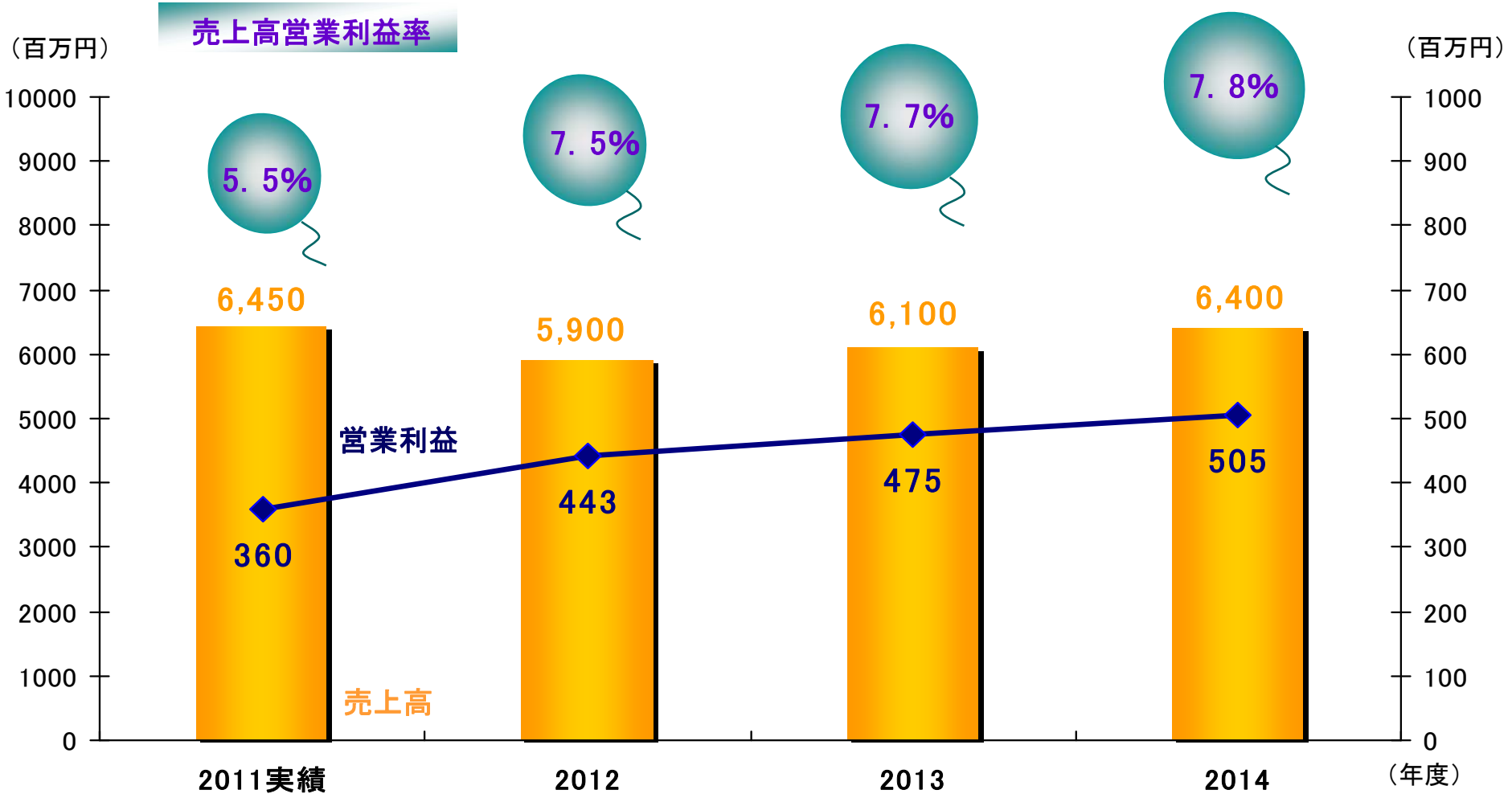
人材育成の充実

サービスマニュアルの充実
事業所間の交換技術研修

◆専門性の追求、技術継承・情報の共有化
◆発電所間の相互支援体制

8. 連結中期経営計画(事業収支)

2012年～2014年　売上高･営業利益 目標

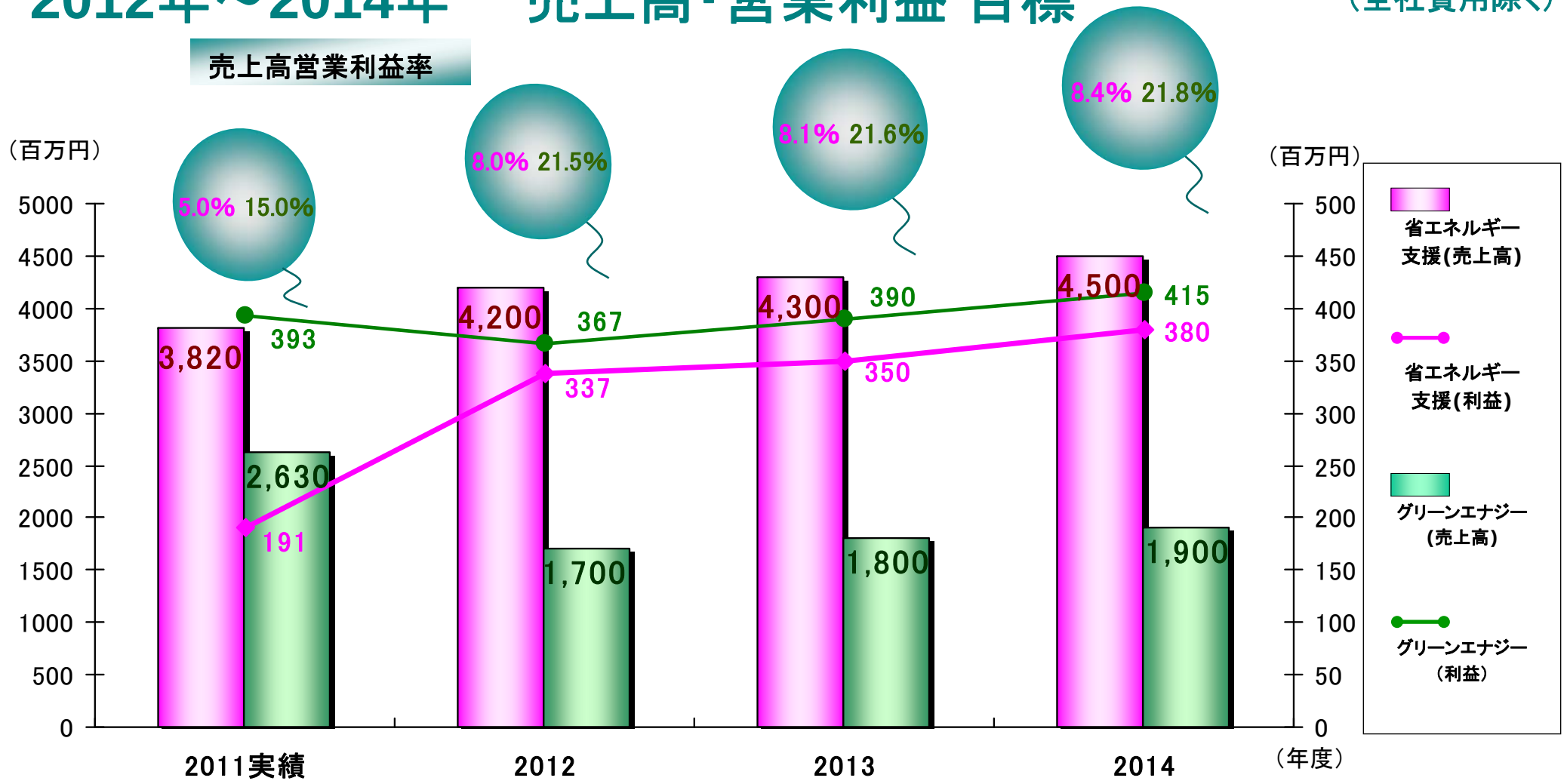


2011年実績には、岩国ウッドパワー･白河ウッドパワーを含んでいます。
その為、一時的に売上高は減少しますが徐々に回復して行きます。利益率は順調に増加し、2014年では7. 8%を見込んでおります。

9. 連結中期経営計画（セグメント別収益）

2012年～2014年　売上高・営業利益 目標

（全社費用除く）



省エネルギー支援サービス事業の売上高は順調に推移し、収益性が改善して行きます。

グリーンエナジー事業の2011年実績には、岩国ウッドパワー(7ヶ月)・白河ウッドパワー(12ヶ月)及び日田ウッドパワーとファーストバイオスを含んでおります。

2012年以降のセグメント別収益は、日田ウッドパワー・ファーストバイオス、2社となり、発電に関する売上高は一時的に減少するものの、

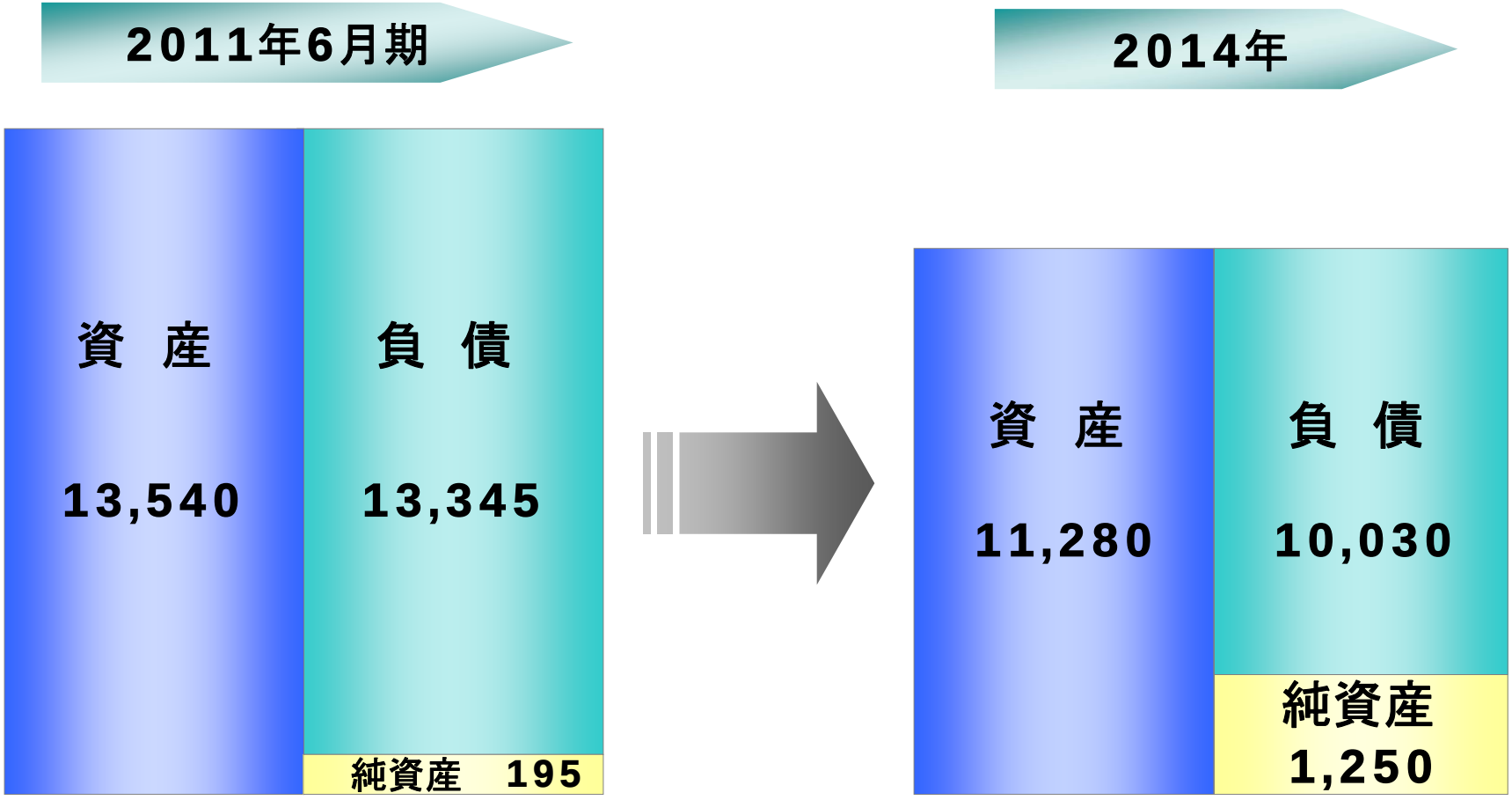
営業利益は一定の水準で推移するものと見込んでおります。

fesco

10. 連結中期経営計画(BS)

2012年～2014年　貸借対照表 目標

（百万円）



各事業セグメントの収益性の改善により、3年目を目処とした中期目標として
自己資本比率11%の水準を目指しております。

会社概要

会　社　名	：株式会社ファーストエスコ
事業内容	：省エネルギーサービス業 （ESCO：Energy Service Company）
代　表　者	：代表取締役社長　島﨑　知格
設立年月日	：1997年5月27日
所　在　地	：東京都中央区八重洲2-7-12　ヒューリック京橋ビル
資　本　金	：68 億4023万円（2011年6月末現在）
従　業　員	：連結 70 名（2011年6月末現在）
関係会社	：㈱日田ウッドパワー ㈱ファーストバイオス